

		1年次						2年次						3・4年次						卒業要件単位
		1セメスター			2セメスター			3セメスター			4セメスター			5・7セメスター			6・8セメスター			
		授業科目	単位	担当者	授業科目	単位	担当者	授業科目	単位	担当者	授業科目	単位	担当者	授業科目	単位	担当者	授業科目	単位	担当者	
専攻科目	学科基本科目	経済入門基礎簿記	2	専任教員*1 宮下林島	基礎会計	2	*1 小林島													
		経営学	2	加藤(寛)原飯塚比佐(章)齋藤(太)新家ハツ橋中田	経営学	2	加藤(寛)原飯塚比佐(章)齋藤(太)新家ハツ橋中田													
		日本経済論	2		日本経済論	2														
		流通論	2		流通論	2														
	コース指定科目							経営管理論	2	小山	経営組織論	2	小山加藤(元)	グローバルマーケティング	2	丸谷	グローバルマーケティング	2	丸谷	
								経営史	2	山本(通)山藤	経営史	2	山本(通)山藤	経営財務論	2	小林坂本(恒)	経営財務論	2	小林坂本(恒)	
								中小企業論	2	百武比佐(優)	中小企業論	2	百武比佐(優)	経営戦略論	2	小加藤(元)	国際商務論	2	中野	
								非営利組織論	2	大黒	協同組合論	2	大黒	広告論	2	及川	広告論	2	及川	
								物流論	2	中田魏	物流論	2	中田魏	交通論	2	齊藤(実)	交通論	2	齊藤(実)	
								マーケティング流通史	2	上沼田島	マーケティング流通史	2	上沼田島	消費文化論	2	熊沢	消費者行動論	2	白井(美)	
コース指定科目																				
専攻科目	コース指定科目	経済史	2	松村庭田中(光)	経済史	2	吉岡大滝村庭田中(光)	マクロ経済学	4	大澤玉井木	金融論	4	酒井	国際会計論	2	戸田(隆)	会計社会学	2	戸田(隆)	
		経済情報処理	2	*2	経済情報処理	2	*2	アジア経済論	2	菅原	アジア経済論	2	菅原	外国為替論	2	清田	外国為替論	2	清田	
		経済地理	2	後藤三富	経済地理	2	後藤三富	アメリカ経済論	2	戸田(社)秋原	アメリカ経済論	2	戸田(社)秋原	国際運輸論	2	浅井	国際運輸論	2	浅井	
		コンピュータ概論	2	児玉	管理会計論経営分析論	2	後藤三富	現代会計学	2	奥山(茂)田中(弘)	国際金融論	2	緑川	国際金融論	2	緑川	国際ビジネスコミュニケーション	2	呉	
								財政学	2	五嶋田上森池上	証券市場論	2	数販	証券市場論	2	数販	証券市場論	2	数販	
								財務会計論	2	岡村川手	国際ビジネス論	2	山本(崇)荒畑李	国際ビジネス論	2	山本(崇)荒畑李	国際ビジネス論	2	山本(崇)荒畑李	
	選択科目	社会経済学	2	中川松橋	社会経済学	2	中川松橋	社会経済学	2	中川松橋	貿易政策	2	荒畑李	国際経済関係論	2	秋山	国際経済関係論	2	秋山	
		商法概説中国経済論	2	金柳澤	商法概説中国経済論	2	金柳澤	貿易売買論	2	金柳澤	貿易売買論	2	金柳澤	海上保険論	2	荒畑李	海上保険論	2	荒畑李	
		貿易コミュニケーション	2	呉小川(智)	貿易コミュニケーション	2	呉小川(智)	ヨーロッパ経済論	2	蓮見	ヨーロッパ経済論	2	蓮見	ヨーロッパ経済論	2	蓮見	ヨーロッパ経済論	2		

*5 戸田(龍), 田中(弘), 井上, 市川(琢), 宇久田, 今田, 早川, 宮澤, 四方田, 宮下, 村上
*6 佐藤(孝), 小山, 三島, 山本(崇)

〔備考〕教育課程表中、■印は2012年度以前の入学者が履修することが出来る科目、□印は2013年度の入学者が履修することが出来る科目を示す。

〔履修要件〕

- 各年次ではそれぞれ上位年次の授業科目を履修することはできない。
- 同一授業科目は、重複して履修することはできない。
- 各セメスターの履修単位は、それぞれ22単位を上限とする。
ただし、
長期履修学生制度適用者に対する各セメスターの履修単位は14単位を上限とする。
卒業年次生に限り、特別に学部長の許可を得た者はこの限りでない。
資格教育課程に関する科目、教職課程の「教職に関する科目」及び「キャリア形成科目」の単位数はこの上限単位に含めない。
通年科目を履修した場合は、その科目の単位数を二分割し、前期・後期それぞれの学期の単位数として換算する。
- 「経済入門」は1年次のみ履修することができる。
- 「経済ゼミナール」は2年次、「経済ゼミナール」は3年次、「経済ゼミナール」は4年次で履修するものとする。
- 「インテンシブ・プログラム〔英語〕」の履修については、履修者を制限する。履修の方法については、別に定める。
- 「経済情報処理」の履修については、履修者を制限する。履修の方法については、別に定める。

〔コース登録〕

- 2年次の第3セメスター履修登録時に「貿易と国際ビジネスを学ぶコース」「経営とマーケティングを学ぶコース」「企業と会計を学ぶコース」のうち、いずれかのコースを選択し、登録しなければならない。
- コースの変更を希望する者は、3年次の第5セメスターの履修登録時に「コース変更届」により申請し、許可を得なければならない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。ただし、2012年度以前の入学者については、各セメスターの履修制限単位数には含めない。

- 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

〔卒業要件〕

- 4年(8セメスター)以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

入学年度	授業科目	共通科目							共通科目計	専攻科目					専攻科目計	自由選択科目	合計	
		F Y S	外国語科目		教養系科目					学科基本科目	コース指定科目	コース科目	選択科目	関連科目(8可)				
			(第一外国語)	第二外国語	キャリア形成科目	人文の分野	社会の分野	自然の分野										健康科学の分野
2010年度以降入学		2	6	4	—	4	4	4	34	12	36	72		84	10	128		
			10			22												

- 共通科目のファースト・イヤー・セミナー(FYS)2単位を修得すること。
- 教養系科目から22単位以上(人文、社会、自然の各分野の4単位を含む)を修得すること。
ただし、「キャリア形成科目」の単位は「卒業要件単位数」に算入しない。
また、教養系科目のうち「健康科学」の「スポーツ文化」については、2単位まで「卒業要件単位数」に算入できる。
- 第1外国語として、英語6単位を修得すること。
外国人留学生は申請により、英語に代えて日本語を第1外国語とすることができる。
- 第2外国語として、第1外国語以外の外国語(同一語に限る)又はインテンシブ・プログラム〔英語〕の科目より4単位以上修得すること。ただし、外国人留学生は母国語を除く。
- 専攻科目から84単位以上修得すること。ただし、次の単位を修得しなければならない。
(1) 学科基本科目から12単位以上修得すること。
(2) 各自が選択したコース指定科目を36単位以上修得すること。
(3) コース指定科目(各自が選択した36単位を含む)、コース科目及び選択科目から72単位以上を修得すること。
ただし、関連科目は8単位まで選択科目に換算できる。
(4) 学科基本科目の「卒業要件単位数」を超える単位はコース指定科目に換算できる。
- 自由選択科目の単位として、10単位以上を修得すること。
自由選択科目の単位として算入できるものは、次のとおりとする。
(1) 全学共通科目(キャリア形成科目を除く)及び専攻科目の「卒業要件単位数」を超える単位。
(2) 教職課程の「教職に関する科目」の単位。ただし、教職課程登録者のみ履修でき、6単位を上限して自由選択科目に算入できる。
(3) 他学部、他学科開講の専攻科目の単位。ただし、他学部他学科が受講を認めない科目については、履修することはできない。

教育課程における標準年次の区切線について	
標準年次が実線(——)で区切られている場合、原則として上位年次の授業科目は履修できません。	
標準年次が破線(……)で区切られている場合、原則として上位年次の授業科目は履修できますが、	
〔履修要件〕等にしたがって履修できない授業科目もありえますので注意してください。	